

- 2006年、年頭のご挨拶 1
- 梶原九州男県議ご挨拶 2
- 戊年生まれの方より一言 2
- お知らせ 2
- 編集後記 2

2006年、年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。2006年（平成18年）の新春をお迎えになられました皆様方に新年の御慶びを申し上げます。

昨年は市町村合併に伴う首長と議会議員選挙、そして総選挙と衆参補欠選挙と選挙続きの1年でした。皆様方には度重なる依頼にもかかわらず、多大なご支援を賜り、誠にありがとうございました。昨年の冒頭、2005年は私にとつて勝負の年、信頼を積み重ね、強い組織を作ると書かせていただきました。大変残念な結果に終わった衆議院選挙ではありましたが、大分県におきましては時代の流れ、政権交代への待望感は維持・拡大できつつあると感じております。

古来、日本は国家という概念がなく、郷や藩が“くに”でした。明治維新を経て、列強からの侵略に対して自己防衛を果たす役割で国家としての連帯感が必要になり、大急ぎで権力を一点に集中した絶対主義国家を作り上げました。その行き着いた先があの太平洋戦争だったと思います。敗戦後、アメリカの庇護の下、自ら市民社会を作り上げるといっても、許されることなら何でもやっていいという管理下での自由が発展しただけではなかったでしょうか。そこに育ったのは利権であり、自分のためという個人主義です。

戦後60年、この国に権力らしい権力は存在しませんでした。政治はせいぜい調整的機能を果たしているに過ぎません。そして、権力どころか政治そのものが小さくなり、昨年夏ついにゲームになってしまいました。新聞はブームで踊つてしまう大組織だという指摘もあります。利権にのみ左右されていたものが健全な民主主義へ方向を変えるのではなく、権力への後押しを得たと誤解しつつあります。古来一つの権力なり体制なりが自己改革したという例は一つもありません。利権で育ってきたものに権力を与えてはいけません。

たしているに過ぎません。そして、権力どころか政治そのものが小さくなり、昨年夏ついにゲームになってしまいました。新聞はブームで踊つてしまう大組織だという指摘もあります。利権にのみ左右されていたものが健全な民主主義へ方向を変えるのではなく、権力への後押しを得たと誤解しつつあります。古来一つの権力なり体制なりが自己改革したという例は一つもありません。利権で育ってきたものに権力を与えてはいけません。

1800年代後半、第二次産業革命といわれる軽工業から重化学工業への転換がおき、福祉国家政策が始まる。その後、1980年代から重化学工業が衰退し、現金給付による社会保障制度が行き詰まりを見せ始める。この後の方向は福祉国家を捨て去るか（小泉総理の言う小さな政府）、地方に主権を委譲し・市民が権力を握り、自分たちで程よい政府を決定していく社会にするかなのです。

戦後、日本は「富を追求する時代」から「個性重視の時代」を経てきました。私はこれからの時代は「個の成熟の時代」だと思っています。自分を成長させるために勉強する・仕事に励む・人間のつながりを理解するために地域や社会に貢献する、そのような《個の成熟と公共性》が民主主義の基本であると思います。自分たちの手で市民社会をつくる“自分たちの”という意識を国民総がかりで建設する必要があるのではないのでしょうか。われわれは小さな中央政府としてほどよい地方政府を目指しています。

効率的で無駄のない政府は当然のことです。そのためには利権をなくさなければなりません。産業構造の変化から来た社会保障制度の揺らぎ、そして世界で初めに訪れた少産多死社会。政治が新しい制度を作り出していかなければなりません。現実の制度を追認するだけでは負担が増えて、給付が減るのは当たり前です。日本に続いて少子高齢社会が訪れる先進諸国は日本の作り出す新しい制度に期待をしているはず。個の成熟を目指した人づくりに資する教育政策、地方主権に基づいた社会保障政策、今年から、そして長い年月をかけて取り組むであろう私の政策目標です。継続しつつ、また新たな努力を加えつつ精進いたします。

終わりに、皆様方のこの1年のご多幸、そして自己の目標達成をお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。

参議院議員 医学博士

足立信也



連合大分主催 増税は許さない総決起集会



ご挨拶

民主党大分県総支部連合会幹事長
大分県議会議員 梶原九州男



異常気象は止まるところを知らず、猛威を振るっております。そんな中、今年の正月三が日は穏やかな天候に恵まれました。皆様方には希望に満ちた新春をお迎えの事と拝察いたします。

さて、政府や経済団体は、景気は回復基調にある、いや回復していると言っておりますが、皆様の感じは如何ですか。私は新年の挨拶回りをする中で、個人や企業の皆さんとの懇談を致しましたが、実感が無いと言われる人が殆どでありました。製造業を中心とした企業は好決算で、利益を出しておりますが、その利益の配分が、従業員や庶民まで回っていないのが現状ではないでしょうか。一方で社会構造の二極化（強いものと弱いもの、富むものとそうでないものなど）が進んでいるといわれております。弱肉強食の社会が住みよい社会でしょうか、私はそうではない、頑張れば報われるのは当然ですが、がんばる事が出来ない生活弱者に光を当てるのも、政治や社会の役割だと考えます。

すべての人が希望のもてる、素晴らしい2006年となることを祈念してご挨拶と致します。

戌

年生まれの方々より
一言いただきました

■昭和九年生まれ S・Tさん（男性）■

文書を綴る羽目になり文才のない私には少々困惑しましたが、この際、恥を覚悟で思いつく儘に書く決心をした次第です。一昨年の七月、あの会場で多くの支持者のみなさまと手をとり合って小躍りしたあの光景は今でも我々の記憶の中に残っています。あの感激は何度体験してもと思うが世の中そう甘いものではない。今一度あの日の氣持を思い出し我々関係者共々日々精進し驕る事なく二期三期へと目標に向って歩いて行くではありませんか。

県民期待の星が夜空に何時迄も光り輝き続けさせる事こそ我々の責任ではないかと思ふ。

「今年のほうふ」

今年、私は豊府小学校の六年生になります。私が最上級生になるなんてビックリです。

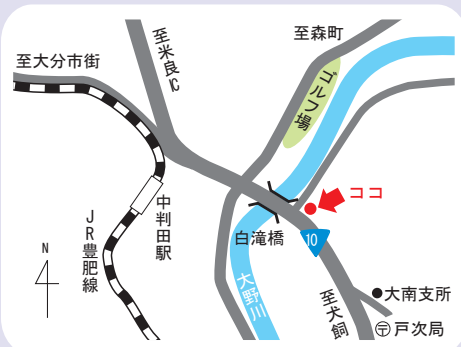
下級生の人たちに見られてもはずかしくないように、いろんなことにがんばりたいと思います。

まず一つ目は、お父さんもお母さんも働いているので、家の手伝いをいっぱいしてお母さんを助けたいと思います。二つ目は、ピアノを今まで以上に練習して、今度の発表会までにかんばきにひけるようにしたいです。三つ目は苦しい社会をもっと勉強することです。

はじめての年女、今年はどんな年になるかわくわくしています。

■平成六年生まれ N・Tさん（女性）■

大分事務所移転のお知らせ



移転予定日

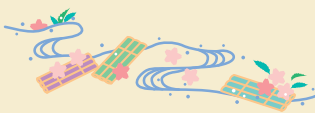
3月11日(土)～12日(日)
3月13日(月)より 平常業務

〒879-7761
大分市中戸次6126-1
(白滝橋東 ドコモショップへつぎ店横)

電話 548-8484
FAX 548-8400
ごようは はよはよ

参議院議員 足立信也の政治活動の拠点であります「大分事務所」をこの度、足立信也が生まれ育った戸次地区に移転することになりました。大野川の清流のもと大変寄り付きの良い場所です。是非お立ち寄り頂きたくお願い致します。

編集後記



あけましておめでとうございます。昨年はお世話になりました。今年も編集一同頑張ります。ご指導、ご鞭撻、よろしくお願い致します。



上記メンバーにFさんを加えた、合計8名で編集をしています。

お知らせ

個人会員募集

個人会員を募集しています。(年会費 ¥5,000) 事務所の運営費・Shin-ya新聞の発行費・集会費等に充てます。皆様の入会をお待ちしています。
※ホームページから加入手続きが出来る様になりました。

ミニ集会(見て聞いて知っちゃくれ)開催のお願い

足立信也を知っていただくためのミニ集会を計画しています。少人数でもかまいません、ご協力いただける方は、大分事務所(097-573-3355)までご連絡ください。